

高校回転

深澤(足大付)接戦制し初V男子

女子1年・大西(足大付)が栄冠



アルペンスキー
県高校・中学総体

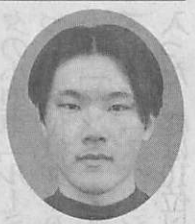
アルペンスキーの県高校・中学総体は11日、那利大付勢が表彰台を独占した。

須塩原市のハンターマウンテン塩原で開幕し、男女の回転(2回)を行った。

深澤は1回目を終えて41秒49でトップ。2回目そのままりードを保った。



大西美琴



深澤高晴

占。男子は3年の深澤高晴、女子は1年の大西美琴がそれぞれ初優勝を飾った。

も45秒12をマークし、計1分26秒61で2位と0秒11差の接戦を制した。大西は1回目で出場

唯一の43秒台を記録し、大西は1回目で出場した。

会心の滑りを終えタイムを確認し、「よし、よし」とうなずいた。高校男子回転を初めて制した深澤高晴(足利大付)は普段のクールな表情から一転、感情を表に出した。

レースは同門対決の大接戦。2位の中島崇秀とは2回合計で0.11秒差での決着だった。「ずっと緊張し



県高校総体男子回転で頂点に立った深澤(足大付)ハンターマウンテン塩原、増田康志朗撮影

重圧の中 攻めの滑り 深澤

ていた。特に1回目は0.02秒の差しかなかったのだ。「重圧から解放されると、雪の上へ寝そべり余韻に浸った。

この日のコースは柔らかい雪質。得意なコンディションも生かし、1回目は41秒49の好記録で首位に立った。

それでもほぼ同タイムで肉薄してくるライバル。2本目は「より攻める」という意識を体現し、多少ターンの流れながらもトップス

ピードで滑り切った。昨季はヘルニアを発症。思うような結果を残せず、同種目のインターハイ出場

を逃した。源田道昭監督は「苦しいシーズンを送った。今季は毎日マッサージュをし、調子を整えながら頑張っている」とねぎらった。

長野県出身。レベルの高い環境を求めて栃木にやって来た。「(高校)最後のシーズンなので恩返しをしたい」と意気込む。本来、得意としている種目は2日目の大回転。「調子が良い。狙いたい」と2冠も標準に据えた。

苦難を乗り越えた先の成長。それを証明するシーズンが幕を開けた。(湯田大士)

た。中学男子は足助柊哉(東那須野)、女子は大貫詩旺(鹿沼東)がそれぞれ危なげなく連覇を果たした。

高校男女の上位入賞者は2月7~11日、山形県で開催される全国総体(インターハイ)に、中学男女の上位入賞者は7~10日、長野県で開催される全国大会に出場する。

《高校》
【男子▽回転】①深澤高晴(足大付)1分26秒61②中島(同)③横尾(同)
【女子▽回転】①大西美琴(足大付)1分33秒02②井口(同)③深澤(同)